

町田市議会議員

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



町田市議会

〒194-8520

東京都町田市

森野 2-2-22

☎042-724-2127

会派が解散、単独活動

弁護士報酬の和解金弁済について

町田市の一部エリアのごみも収集・焼却対象にする多摩ニュータウン環境組合（多摩清掃工場を運営する組合自治体＝以下、組合と記載）はその施設整備に関してメーカーの談合があり、住民がその不当性を問う訴訟を起して、組合はその恩恵として弁償金を得ています。その後、この弁償金を積立しており、現在では利子を含めて約 18 億円に達しています。

ところで当該裁判の弁護士費用を組合がメーカーに代わって当該弁護士宛弁済していますが、組合はその費用をメーカーに弁済するように求める裁判を行っています。

他の自治体例では、自治体（＝組合）がメーカーに勝っていますが、東京地裁では先の弁償金で組合はその費用を含めて手にしているという観点で敗訴しており、現在高裁で裁判中です。この組合議会（私は町田市選出議員の 1 人）は元来がメーカーの責任だから、組合と同様に弁済を求める立場に立っています。12 月に判決がでる見通しだとのことですので、目が離せない裁判と言えましょう。

*ちなみに、町田市議会の本会議（第 3 定例会）一般質問で組合の副管理者である町田市長がたびたび組合議会の本会議を欠席していることを質しましたが、市長は『議会出席は重要だ』と言いながら、なぜか今回（決算認定や補正予算を審議した本会議）も欠席でした。もとより、議員の欠席・遅刻は皆無です。

教育委員会が必要なのか

第 18 回清溪セミナーに出席しました。この第Ⅲ講座で、「教育委員会は地域コミュニティにとって必要なのか」と言うシンポジウムが開かれました。ちなみに、私はその冒頭司会を担当しました。



この間、全国各地で、いじめの問題において教育委員の自立性が発揮されていないことが起きたり、あるいは教育委員が単に事務局の追認行為を行うのみになっている例が出ています。他方で、教職員の給与が都道府県負担であることで、基礎自治体（町田市も入る）側の教育委員会の権限が及ばない状況で、事務局が単に事務を行う機関になっているとされています。

講師から、その改善方法の取組みが報告されました。教育委員会が学校長に予算案作成や規則運用において権限をゆだねること、教育委員の情報収集で独自性が確保される方法などの説明を受けました。町田市では、現場経験者が委員になる例が多いうえに、元学校長・元教育委員会役職者の教育委員（長）の就任で明快な役割が発揮されることを期待している次第です。

★マルチメディア双方向発信 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> ユーチューブ <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイト E103-13 吉田つとむ（市議会議員）

町田市議会議員

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



インタビュー生募集中

携帯QRコード
でブログ閲覧

研修生レポート ② 金田 有里恵

町田市リサイクルセンターで開催された「町田エコフェスタ 2013」に行きました。リサイクルセンターというだけあって、環境に配慮したイベントに感心しました。容器の完全分別や、環境に配慮した品々がたくさん並んでいました。施設の職員の方に、フェスタだけでなく施設の概要も説明して頂きました。なかでも印象に残ったのは、子ども(特に小学生)に施設の説明をするための施設が完備されていたことです。地域のゴミ処理のような、子どもたちにとっても身近な問題を小さいうちから正しく理解することは、大変重要なことであると思いました。町田市はゴミの排出量を現在よりも 40%削減することを目指しています。最初は不可能ではないかと思いましたが、その気になればできるはずです。その目標に一步ずつでも近づく為に、他人任せにせず、私たち自身の身の回りからゴミの排出量を減らす努力をする必要があるのだと改めて思いました。



(町田リサイクルセンター正門の特設アーチ)

定期的にこれらのような地域ごとのイベントを持つことは、その地域の人々の良い交流の場になるだけでなく、自らの地域についてよりよく学べる良い機会になります。こういった機会をもっと増やし、より多くの人々に告知し、市民が集まると良いのではないかと思います。記：金田有里恵 フェリス女学院大学 1 年 (第 33 期研修生)

(以下、第 4 回レポートの抄録) 町田調理師専門学校の「けやき祭」、および町田製菓専門学校の「秋菓祭」を見学しました。この二つの専門学校は、同じ系列の学校だそうで、近くに位置していました。専門学校という私にとって未知の世界のものを初めて目にする良い機会でした。調理専門学校では、惣菜炒飯の調理体験をしました。我が家ではテフロン加工されたフライパンで炒飯を作るので、中華鍋で炒飯を作ることがどれだけ重労働かを思い知らされました。製菓専門学校では、マジパンのケーキや、あめ細工、ウェディングケーキなどが展示されていました。どれも素敵にできていて、食べ物であることが信じがたかったです。芸術作品のようでした。お菓子作りには、芸術的センスが必要であるということがよく分かりました。記：金田有里恵



★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ どうぞ、町田市政や議会に関するご要望や、ご意見をお気軽にお寄せ下さい。

Mail : yoshidaben@gmail.com

mobile: yoshidaben@docomo.ne.jp